

ひろば・ヤマハ村

第85号

●発行/
浜松市中区中沢町10-1
TEL (053) 460-1604
ヤマハ株式会社内
ヤマハOB会
●会員数/
3,382人('16年11月1日現在)

ブロック懇親会

第5ブロック

10月2日―呉竹荘にて開催しました。出席者は31名(会員29名、事務局2名)でした。

川瀬リーダーの司会進行で後藤会計の開会挨拶、宮脇チーフリーダーより富塚ブロックの状況報告がありました。

和久田事務局長よりヤマハの経営状況と「つま恋」について、会員増強プロジェクトの鈴木英弘さんより会員紹介キャンペーンの説明がありました。

國田さんのご発声で懇親会の宴がスタートいたしました。

今年の健康長寿者の出席者は大竹さん、佐田さん、國田さん、内山さん、中橋さん、青木さん、積木さんの7名です。今年80歳になられた積木さんと皆さんから長寿の秘訣をお話いただき、記念品をお渡ししました。

今年の新会員は2名で、河田敏幸さんよりご挨拶をいただきました。

今年も5Bの担当幹事の小川さんよりすばらしい奏者を紹介していただきバイオリン、ピアノの演奏を聞くことができました。長寿の皆さんを前列にして記念撮影をしました。

〈後藤 滝三〉



第5ブロック 東伊場 呉竹荘

第8ブロック

10月11日―ホテルクラウンパレス浜松中華料理の鳳凰にてゆったりとした雰囲気の中で実施しました。

クジによる席決めを行い、チーフリーダーの挨拶で懇親会がスタートしました。

和久田事務局長、小池地区担当幹事、事務局の樋口さんより挨拶をいただき、最高齢者の神谷隆雄さんの乾杯音頭で酒宴に入りました。

まず今年度の新会員の谷野正康さん、初参加の谷見さんの紹介に続いて、80歳以上で参加された神谷隆雄さん、長縄良明さん、加藤照仁さん、小柳なの代さんの4名の方にはご長寿を祝し健康祝いを贈りました。

ビンゴゲームでは、番号を読み上げる度に会場から歓声とため息が漏れ、最終的には空クジなしで全員に景品が渡され、大いに盛り上がりました。

最後に次期役員候補の方々をご紹介し、秋の1日を楽しく過ごすことができました。

〈近藤 靖雄〉



第8ブロック 中華料理鳳凰(ホテルクラウンパレス浜松)



秋の懇親旅行

山梨の旬のぶどう狩りと ワイナリー探訪の旅

2016年10月17日、恒例の静岡ヤマハOB会秋の懇親旅行は、ぶどう狩りとワイナリー見学をしました。南アルプスを正面にのぞむぶどう棚の下で、思うがままに旬を食べ味わい、続いて昼食と歓談でひと時を過ごし、次のマンズワイン勝沼ワイナリーでは、見学の後テイastingをして楽しみ満足の旅となりました。参加された皆さんは40名、内ご夫婦が2組でした。



ぶどう狩りを終え南アルプスをバックにして記念撮影

遠鉄バンビツアー乗場から7時50分出発。小雨の中を東名・新東名を走り山梨に向う。幸いにも現地では雨はすっかり上がり快適な1日となりました。



車中でくつろぐ皆さん



長寿参加者10名の方々に記念品が贈呈されました。

左から岸田会長、田村誠章さん、富永旭雄さん、内山宏之さん、太田やす子さん、最長老93歳の宮崎義朗さん、大高竹士さん、小柳なの代さん、関塚壮司さん、松本孟さん、和田秀吉さん

長寿祝い贈呈時の岸田会長のご挨拶

今日は生憎の天気でしたが、40名の方にご参加いただき、いい旅行ができました。そのうち、1/4が80歳以上の我々の先輩です。今元氣な方の半数は90才までは大丈夫と言われています。今ここにいらっしゃる方は全員その対象になります。ところで、静岡県のふじのくに型「人生区分」では、76歳までが壮年で、77歳からやつと老年に入ると定義しています。ここにおられる先輩方の元氣な背中を見ながら我々も人生をたくましく生きていきたいと思ひます。



ぶどうはマスカットベリーAという種類で完熟してほんとに美味しく、皆さん満足そうです。



自分で房を切り、好きなだけ味わうことが出来ました。



ぶどう狩りに続いてパーベキューで満腹になりました。



昼食は富士山の溶岩で作られたプレートで焼くパーベキューでした。



お酒も入り話がはずんでいました。



食事も終わってお楽しみのワイナリーにやってきました。

旅行のもう一つの楽しみは、マンズワイン勝沼ワイナリーの見学です。まず工場を歩き説明を聞き、そして試飲と売店のエリアで楽しみました。30種以上豊富にある中から好みのものを試飲して、気に入って即購入する方もいらっしゃいました。勿論試飲だけでも十分に楽しめました。



ワインの歴史や製造工程の説明を聞く皆さん



ワイナリーの大きな樽とタンクをバックにした記念写真を撮り、帰途につきました。



テイスティングルーム兼ワイン販売店



いろいろな種類を飲み比べる皆さん

サークル活動

ヤマハ塗装会

見学会

◆実施日 平成28年6月22日
◆実施場所 スズキ歴史館

今回は視点を变えて、他業種の「スズキ歴史館」を見学しました。1階には歴代のオートバイが展示されており、入るなり50年前の青年達は興味深く歩き回りました。3階は、スズキが織機の会社からスタートしたこと、これらの製造技術が、オートバイや自動車へ繋がっている流れが見てわかるものでした。

2階は現在と未来のスズキの紹介で、将来へ向けた車作りの流れが良く理解できました。車の塗装現場の場面では、スプレー洗浄を模して天井から霧が降り、プレス現場ではプレス機の振動と音が体感でき、子供達にも理解できるものでした。

展示の最後は、スズキのグローバルな広がりを紹介していました。世界の人達が車とオートバイ



他業種の歴史館を興味深く見学した塗装会の皆さん

を造っている姿を示す展示でした。企業の歴史ばかりでなく、展示の最後に、浜松の紹介をしているスズキを改めて見直しました。

見学会後は、館山寺荘で美味しい鰻を食べながら談笑し、楽しい時間を過ごしました。

へ大隅久芳

よかつた会

和菓子作り

◆実施日 平成28年9月1日
◆実施場所 掛川市谷宅

残暑の中、今回はみんなで和菓子作りに挑戦しました。

掛川市で緑茶を生かした、掛川らしい食育推進施策の一環として「かけがわお茶レシピグランプリ」が行われ、その時発行されたレシピ集にお茶を活用した魅力的レシピが数多く紹介されています。

今回は掲載されていた中の、優



秀賞作品カテキン大福を作ってみました。

餅の様に粘りが出るまでねる作業は、みんな大変そ

うでした。失敗しながらもやり直して、完成した大福をみて感激していました。

お茶うけには、うつつけの素晴らしい和菓子でした。

レンジで手軽に作る事ができ



カテキン大福を作ってみました。



て、掛川茶の緑に柿のオレンジが映える一品です。

ドライフルーツ・イチゴ・バナナ等、季節感のあるフルーツをささめば楽しさが広がります。

大福を作りながら、近況報告に花を咲かせ昼食をして解散となりました。

〈谷みよ子〉

32B 掛川OB会

ボウリング大会

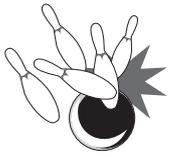
◆実施日 平成28年9月10日

◆実施場所 掛川毎日ボウル

掛川OB会ボウリング大会を女性14名男性27名の41名参加で行いました。

大会は1レーン4名で、勝負よりも親睦、2ゲームを行い楽しいひと時を過ごしました。今後も工夫しながら、より楽しいボウリング大会を計画していきます。

〈藤本 明〉



41名が参加し、楽しいひと時を過ごしました。

第21元氣クラブ

ふるさと再発見

◆実施日 平成28年9月10日

◆実施場所 舞阪町内

久しぶりのサークル活動でした。今年の目標はブロック内舞阪、雄踏、新居の各地域を歩いてふるさと再発見をしようという事です。第1回は舞阪町内で実施しました。

当日は快晴で9時に舞阪宿脇本陣駐車場に集合し、徒歩で舞阪港を散歩しました。潮風にあたりながらの散歩で、岸壁での釣り人も多数おりました。

次に舞坂宿脇本陣の見学をしました。江戸時代、東海道路舞坂宿は江戸から30番目の宿場で、東西交通を結ぶ今切渡し(渡し船場)でした。案内の方の説明では、脇本陣「茗荷屋」には、上段の間がある書院棟が残っていました。これが東海道唯一の脇本陣の遺構で、この貴重な脇本陣を後世に伝えるべく現在の場所に復元したそうです。入場無料ですから是非立寄ってみるといいと思います。

脇本陣の見学を済ませて次は岐佐神社参拝です。しばらく歩いて

岐佐神社に着き、全員でお参りをして記念写真を撮りました。今年10月14日、15日に舞阪の太鼓祭りが行われますが、祭りのクライマックスはこの階段を大太鼓がひっぱられて登るときで壮大なものなのです。

最後に本日のお楽しみは常に行列が出来る舞阪浅草軒で、約30分並んで中華そば、餃子を食して、解散しました。秋の風情の漂う日



岐佐神社の前で記念撮影。

に有意義な半日を過ごすことが出来
ました。

〈那須田 介治〉

ヤマハグランドゴルフ同好会

雨の親睦会

◆実施日 平成28年9月13日

◆実施場所 江ノ島荘

澄み切った秋空の下で今年度最
後のヤマハOB会を計画しまし



健康を保ち、グランドゴルフを続けられるよう話し合いました。

たが、あいにく大型台風と連日の
秋雨前線の影響でグランドコン
ディション不良で大会をあきらめ
ました。誠に残念です。

昼食を摂りながら会員相互の親
睦と高齢化が進む中で、いかに健
康を保ちグランドゴルフが続けら
れるか等話し合いをしました。

季節の悪い冬と夏を避けて春
(3～5月)と秋(9～11月)に
交通の便が良い所を選んで年2回
実施することになりました。

〈岡本 修二〉

豊楽会

体験ツアー

◆実施日 平成28年9月26日

◆実施場所 三島スカイウォーク

高齢(恒例)の豊楽会小旅行を
久し振りに企画しました。目的地
は三島スカイウォーク体験ツアー。
参加者数33名(男性22名・女性11
名)平均年齢70歳、最高齢者は杉
山勇さん81歳でiPadを片手
に写真を撮りまくる、「懇親会ま
でに編集して持つて行くよ」と約
束してくれ、チャレンジ精神の



久しぶりの旅行で盛り上がり、リフレッシュ出来た一日となりました。

旺盛さに脱帽です。また今回は事
務局長の和久田さんに会員の退職
後の活動内容等を見て頂きました。
車中ではお決まりのビンゴゲーム
で盛り上がり、景品の中身はミス
テリー、帰宅してからのお楽しみ
としました。最後に焼津さかなセ
ンターで家族への土産を買い求め、

リフレッシュが出来た一日となり
ました。また「目指せ百歳」グルー
プの村田健三さんより、新企画「サ
ヨナラつま恋でもう一度会おう」
のお話があり、わくわく楽しみが
増えました。

〈長澤 信明〉

好球会

ゴルフコンペ

◆実施日 平成28年10月11日

◆実施場所 掛川グリーンヒルコース

さわやかな秋の風が心地よく頬
を撫でていく中、好球会4回目の
コンペが開催されました。

メンバーも固定化と同時に高齢
化が進み、見た目は元気なれどそ
れぞれに身体の悩みを抱え、苦勞
しながら好きなゴルフを楽しんで
います。80歳を超えてなお、毎回
元気に参加してくれる手本となる
人がいて、全員の良き目標となっ
ています。今回も飛距離のアドバ
ンテージを活かし、ネットパープ
レーで準優勝に食い込みました。
久しぶりに加藤幹雄さんが、
ネット67と言う好球会始まって以



さわやかな秋風の下、ネット67という好球会始まって以来の記録が生まれました。

来、数少ない記録で優勝を飾りました。さぞや自信満々の優勝コメントが聞けるかと思いきや、本人曰く夏場はコースに出るのを控え、出来るだけ練習場でイメージを作っていたとの事。大たたきを少なくした事が7つのパーに繋がったのか?最後は良きパートナーとハンデイに助けられたと謙遜したが、実力ですよ!!

〈宮沢 寿〉

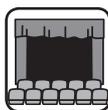


ウォーキング

5ブロック 内山貞二

毎日元気で佐鳴湖一周歩いています。

地球一周4万キロを完歩したのが今から3年前の平成25年9月でした。新たに累積を始めて、現在8100kmを通過中です。これからも健康に気を付けて歩き続けて行きたいと思っています。



甦れ「はまホール」

5ブロック 片山信次

「はまホール存続検証検討会」が今年2月に「別の場所に新設」との提言を浜松市長に提出した。

現在閉鎖中の「はまホール」については、存続や代替施設の建設を求めた署名が6万3千件を超え、市長の関心も広がっていた。新設となると関係諸団体からの我田引水ぎみた意見、要望が噴出することも懸念されるが、「市民会館」当時から永く親しみ署名活動の一

端に加わった身として、願わくば原点に立ち返り、芸術文化の拠点として永く愛される施設の早期完成を望みたい。



つま恋残念

5ブロック 後藤滝三

9月2日つま恋撤退が報道され驚きです。

我々世代は音楽、スポーツ各種イベントで利用の多い施設でした。

近年では、夫婦でイルミネーション、孫達とのプールが楽しかったです。ほんとうに残念です!!



ボーイスカウト

5ブロック 西村清矢

今年の夏は、東海4県ボーイスカウト3000名が岐阜県日和田高原で5泊6日のキャンプを行いました。

小生あいかわらずボーイスカウト浜松地区の委員長として子供たちと遊んでいます。



絵画展

5ブロック 積木節雄

長い年月をかけてやって来た私の趣味である絵画模写に関連して、左の様な絵画展を開催して頂きました。

期間中は多くの方々に見えて頂き、又ケーブルTVも取材放映してくれる様で楽しみにしています。

お陰さまで健康に過ごしています。

『内洋様空 泰西名画展』
～フェルメールから印象派、クレマ～

平成28年9月17日(土)～25日(日)
10時～15時 観覧料は700円(10歳未満は300円)
・会場:アト&ギャラリー広原
浜松市中区広原2丁目26-15 ☎053-455-0404
・主催:アートフォースM&K
浜松市東区有馬町1500 ☎053-7302-1453



参加します

6ブロック 前川 徹

今年の夏の暑さを何とか乗り越えました。OB会参加します。



元気です

22ブロック 鈴木 惇

84歳になりましたが、今の所、元気で頑張っています。



蜂蜜ものがたり

22ブロック 野末 幸男

我が家は鷺津の古刹本興寺と山続きの一角にある築120年を越す古い民家です。

3年ほど前のある日、とろりとした飴色の液体を畳の上に発見。そしてその翌日朝も。蜂蜜に詳しい知人に見てもらったところ、ニホンミツバチが壁の隙間から入りこんで天井裏に巣を作り、その蜂蜜が漏れ落ちたということが分かりました。
その知人が裏山に巣箱をしつらえてくれましたので、時々様子を見ておりましたところ、小型のニホンミツバチの巣箱への出入りが見られるようになりました。
しかし、そろそろ自家製の蜂蜜

をと期待を膨らませていたら、あの大きなスズメバチが巣箱に出入りしているではありませんか。ああ無残。巣箱の中は蜂の死骸と大きく成長した灰色の巣の残骸のみ。3年ごしの甘い期待はスーッと消えて無くなりました。



中村家住宅

22ブロック 渥美 仁志

国の重文・中村家住宅(雄踏町)で、管理人兼説明員をしています。徳川家康の次男が生まれた古民家です。是非一度お訪ね下さい。



トット会

22ブロック 澤木 延文

現在フリーなので、狭い庭を駐車場にと自前でブロックレンガ積みが終了。難関のモルタル塗りへと進めています。その後塗装、完成は7月に入るかな!!

話は変わりますが、仕事のつながりのあった有志で、ヤマハOBの料理店「信」で3〜4ヶ月毎に親睦会「トット会」に参加して美味しい料理・お酒に舌鼓し、会話が盛り上がっています。



バンド演奏

22ブロック 中村 益夫

7人編成のヤマハOBグループでバンド演奏ボランティア活動をしています。



元気です

22ブロック 山本 秋治

今年94歳を迎えます。まず何とか元気に生活しています。



日本海クルーズ

10ブロック 大江 一郎

この夏、5泊6日のクルーズ旅行に、孫、娘、私の3人で行って来ました。

停泊先は、舞鶴、金沢、境港、釜山、福岡です。全日程全て3食付で、旅費が1人当たり11万円程度とイメージより相当安い。更に、

大人が2人だと何と子供が1人タダ!!、と言う娘の提案にうかうかと乗ってしまいました。私は、孫の子守りと大蔵省の代わりか...と思うも、娘は親孝行をしてやっている気ではいっばい。

船は「コスタ・ビクトリア」と言うイタリア船籍です。

驚くなかれ!、日本の周りをうろちよろするのに、港での出入りは全てパスポートが必要で出入国審査を受けます。福岡では麻薬犬も出動して丹念にスーツケースを嗅いでいました。

朝はカフェのバイキングでのんびりし、昼は、屋外プールで孫と泳いだり、又、何回かは入国(日本へ)してレンタカーを借りて観光。夕方は夕日を見ながら屋上テラスでお酒を飲み、夜は、フォーマル服でDinner。大ホールでは日替わりのショーが有ります。何もかもが新鮮で、毎日今までの旅行とは又一味違った大変楽しい時を過ごしました。
特にグラインドバーでの夜のイベントは楽しかったですね。クルー

のスタッフが、どうすれば皆が参加するかのツボを心得ていて、誘導の仕方がほんとうにうまい。生演奏(この時の女性歌手がいい声していた!)を聞きながら、ゲームをしたり、合間に、爺ちゃん、婆ちゃん、大人、子供、皆が、昔踊ったジエンカ(?)で輪になってはしゃぎ回って、完全に童心に帰ってしまいました。



ベルリン再訪

6ブロック 金児孝昌

6~7月にかけてドイツ周遊の旅をしました。そのとき寄ったベ

ルリンでは東西を分断していた壁が1989年崩壊し、今では観光地化されており、37年前にベルリンを仕事で訪れたとき西ベルリンの展望台から東ベルリンをみた記憶がよみがえり、時の流れが大きく国を変化させていることを感慨深く思い、平和な日本に感謝しました。



ハーモニカでボランテイア

6ブロック 石田喜克

ハーモニカアンサンブル演奏でボランテイア活動に励んでおります。演奏用に自分で編曲した曲数も900曲近くなり、ほとんどの歌謡曲をカバーしております。



上田城

6ブロック 吉澤富士男

今年は満80歳記念の同級会や同期会などがあり、帰郷して出席しました。

私は長野県の上田高校の出身で、この高校は真田丸の上田城の

一角にあります。昔の城門を今でもそのまま校門に使っていて、脇には水を湛えたお堀も残っています。観光客で溢れていました。



つま恋

6ブロック 井嶋延子

つま恋も営業が終わりさみしいです。

私も年に一度は利用していたのですが…。



老後の趣味

10ブロック 今原良

老後の趣味として、60歳から雅楽の練習を始めてみました。

筆^{ひちりき}築^{ししょう}…10年、笙^{りゅうてき}…8年、龍笛…6年になります。

2014年末に「ひちりきリード製作者の実験報告書 / hichiri.ki.cococ.jp」をアップしてみました。

ホームページは手作りなので制作費は0円、運営費は月額1000円です。

その後、全国からこのホーム

ページを通してひちりきのリード製作依頼が来るようになりました。

いろいろな年齢層の方々とメールで会話をしながら、のんびりと静かにひちりきのリード作りを楽しんで(苦しんで)おります。



介護保険証

5ブロック 北川照夫

浜松市から「介護保険被保険者証」が届き、改めて年齢を確認しました。(…お世話にならないようにしたいサービスではありませんね)



国内旅行

5ブロック 高木久子

楽しい趣味を見つけて楽しい時を過ごしております。

昨年は彦根城、今年は松本城、上田城、サクランボ狩り、長崎ハウステンボス、と秋には伊豆に…今まで行きそびれていた国内旅行をしつかり楽しんでおります。



好きなこと

5ブロック 山崎 紘彦

年々疲労回復力や持久力の低下を実感しつつも、インドア・アウトドアで好きな事を楽しんでいきます。



道しるべ

5ブロック 伊藤 伸

毎回「ひろば・ヤマハ村」を楽しく拝読しております。旧知の友人はもとより、存じ上げない諸先輩のお便りも大変興味深く、今後の道しるべとさせて頂いております。



回復に希望

5ブロック 小川 恭士

高血圧の方は、ご注意を！
10日前、妻が洗濯物を干している時、洗濯挟みが右手でつかめないと言う。足もともおぼつかない。救急車に依頼して、近くの病院

へ。検査の結果、脳梗塞で呂律がまわらない事が判明し、即入院。

週2回のテニスと社交ダンスに興じて元気はつらつだったのに、残念だ。

リハビリで回復させ再来年は香港へ連れだしたい。



海外旅行

5ブロック 内田 幸雄

7月にスイスに行つて来ました。

久しぶりの海外旅行でしたが、大自然のすばらしさに圧倒され感

激し帰つて来ました。時間を作り、時々、日本脱出を試みたいと思います。

仕事はまだ、続行中です。



健康に感謝

5ブロック 國田 佳資

朝目覚めて「今日が始まるぞ！」と…。

ささやかながら生きている実感。そして健康に感謝。

戦争残酷史⑥

第2ブロック 米田 末男

復員と引き揚げ

引き揚げは、戦争が終わり海外にいた日本人が日本に帰つて来た事を言い、軍人が祖国や故郷に帰つて来た事を復員と呼ばれた。天皇陛下は将兵復員にあたり「一糸乱れぬ統制のもとに、整然かつ迅速な復員を行い、皇軍の有終の美を飾る事を切望する」との勅諭をだした。

昭和20年9月復員兵約15000人を乗せて高砂丸が別府港に入港したのが最初の引き揚げ船で、昭和21年末までに約500万人が帰りましたが、残りの人達の引き揚げはまだ何年も後になり、再び日本の土を踏む事が出来なかった人達も大勢いました。

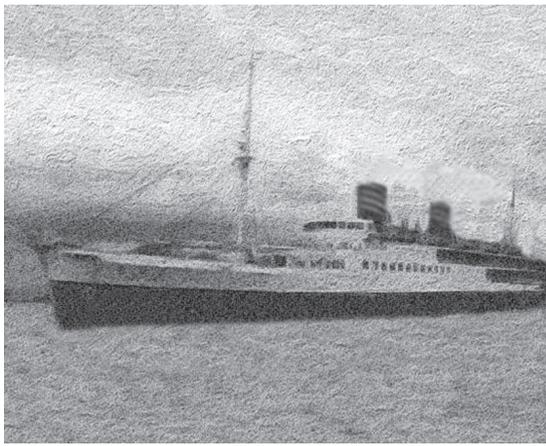
終戦時、軍人、民間人合わせて600万人以上が海外にいて、その人たちがいつせいに日本に帰り始めた。南太平洋地域からの帰国は順調に行われたが、中国からの帰国はソ連の進軍で困難を極めました。満州を支配していた関東軍が捕虜となり、60万人の兵士がシベリヤに抑留された。民間人は引き揚げと言ふよりソ連兵から逃げるのが精一杯で途中で飢えや病気で亡くなり、あるいは家族が離れ離れになつて中国に置き去りになつた子供達が中国残留孤児となる悲劇が起きました。

引き揚げ船が潜水艦による魚雷攻撃を受けて沈没し、1700人が死亡するという痛ましい事件もあり、終戦とはいえ、情勢は不安定で日本へ必ず帰れるという保証はなかった。苦勞の末にようやく帰つて来たものの、待っていたのは焼け野原と食料不足で家族と再会できない人も数多くいました。そのような人の消息を尋ねる「復員だより」「尋ね人」のラジオ番組が始まり、私たち家族にも尋ね人がいたのでこの放送は良く聞きました。

我が家も召集令状で入隊した長兄は岐阜の陸軍歩兵連隊で終戦を迎えたので8月には復員できた。陸軍飛行兵学校に志願で入隊した次兄は満州に派兵の途中、朝鮮で終戦を迎え、運よく

10月に復員できた。その晩は家族、近隣の人達を交えて、戦地での出来事、苦労話などを聞き無事を喜びあった。しかし満州で消息が途絶えた義理の兄は音沙汰なく無情な月日だけが流れた。

シベリヤに抑留された兵士の復員は興安丸で京都舞鶴港に着岸した。その興安丸も昭和33年で終わった。一縷の望みも途切れ義兄はシベリヤの地で戦死として33年葬儀を執り行った。私もこんな環境の中で育ち兄の話などから戦争の知識も自然と備わった。



敗戦でようやく平和が戻りました。しかし空襲によって国土

は荒れ果て多くの人が住む家を失った。そればかりか、戦争による負傷や病氣、食料不足による栄養失調などで、働けない人も多くいた。特に食料不足は深刻で今度は飢えと貧困との戦いが始まる。町には闇市がはびこり、食料が手に入らぬ人たちは農村に買い出しに行った。農家である私の家にも多くの買い出し部隊が訪れた。お金のない人は衣類を売って食料に変えたのでタケノコの皮を1枚ずつはがしていくようだとして「タケノコ生活」と呼ばれた。そうした荒廃した時代にラジオから「リングの唄」が流れ人々のすさんだ心を和らげた。そんな時代の世相を反映した「異国の丘・かえり船・長崎の鐘・岸壁の母」等の歌がラジオから流れた。今でも続くNHKの「素人のど自慢」が始まったのもこの頃であった。70年過ぎた今でもこの頃の歌を聞くとその時代の思い出が蘇る。

南太平洋地域からの引き揚げは順調だったが完全とはいかなかった。ガム島で4人の日本兵が残された、3人は死亡したが

横井庄一さんだけが生き延びます。

和47年に帰国、その後ルバン島で2人の兵士が発見された。終戦を知らず最後まで任務を遂行し、発見された日に地元の兵士との銃撃戦の末、一人の兵士が銃弾に倒れ最後の戦死者となり、小野田寛朗陸軍少尉だけが彼の遺骨を抱き昭和49年3月、最後の日本兵として復員した(平成26年1月死去享年91歳)。復員の機会を失い異国の地で生き絶えた兵士も居れば、自ら望んで現地に残った兵士もいたと言われる。又、113万人超の英霊が祖国に戻れず異国の地で眠っているとされます。いずれの兵士も戦争が生んだ犠牲者です。この人達の多くは大正末期から昭和初期に生まれ戦時体制下を生きた世代で、常に命の危機にさらされ自らの望みも儘ならず、勝つ事だけを信じ厳しい軍務に耐えて来た結果が敗戦という事変を味わったわけ

で、さぞ悔しかったであろう。そんな不幸な人たちであったにも拘らず帰国後は戦後の復興に尽力し、今の繁栄を築いてくれたのもこの人達であったと思いたい。

時代は流れ戦時の生き証人が年々減少し戦後生まれが1億人を越えました。戦争を知らない人達が大多数を占め、戦争の残酷さ愚かさを感じる思いが希薄になっていくことに危惧を感じます。

戦争を知らない幸せな世代の人達よ、是非、沖縄の激戦地、広島、長崎の原爆記念館、鹿児島の特攻基地(知覧)を訪れて戦争の残酷な真実を知って貰いたいと思います。

戦後70年を迎え、両陛下も激戦地となったパラオへ慰霊の旅に出たのを始め各地で追悼の記念行事が行われた。又、不明となっていた戦艦「武蔵」や人間魚雷「海龍」が今年発見された

り、戦争に関する特集がテレビや新聞で報道され、今まで知らなかった悲惨な真実を知り得た。それに私の脳裏に残る記憶を交え纏めて寄稿しました。

あれから70年今の日本の平和は戦争による多くの犠牲の上になり立っていることを忘れてはならない。この平和が永遠に続く事を願うものである。(完)

ヤマハOB会設立30周年記念プロジェクト

始動開始!

だが、この30年という節目に今一度立ち返り、今後のOB会のあり方を検討するとともに、様々の記念企画を立案実行していくプロジェクトがスタートしました。

まずは9月17日浜松21世紀倶楽部に於いて、東日本から西日本地区の代表者で構成される14名のプロジェクトメンバーが集、第一回目の会議を行い、スタートしました。

OB連合会の岸田勝彦会長が冒頭で「この30周年記念をOB会の一層の活性化に向けて一大契機としていきましよう!」と力強く挨拶され、プロジェクトリーダーを務める水谷正治リーダー(静岡副会長)の進行で各地区メンバーのみなさんが活気ある討議を繰り広げました。

OB会30周年事業は来年4月から1年を通して展開される予定です。どうぞみなさんで盛り上げてまいります。



ヤマハ創業100周年の1987年に設立された、当OB会は来年で30周年を迎えます。「会員相互の交流による親睦と生き甲斐の創出支援」「ヤマハ企業理念への貢献・協力」「地域社会・地球環境保全への貢献」を目的に活動してきまし

■プロジェクトメンバーのみなさん(敬称略)■

連合会会長	岸田 勝彦
リーダー	水谷 正治
サブリーダー	林田 甫
静岡地区	松本 孟・鈴木 忠 山下 昇・河内 晃 丸田 武司・石神 孝治 松岡 克夫
東日本地区	袈川 昌代
中部地区	高沢 和成
関西地区	鈴木 猛
西日本地区	堀崎 和夫



お知らせ

まもなく第13回「趣味の作品展」出品申し込み締め切りです。まだ申し込みがお済みでない方はお急ぎください。尚、事務局の不手際で、先回お送りした「出品申込ハガキ」に出品者名などの欄が抜けておりましたことを深くお詫びします。大変ご迷惑をおかけしました。これからお申し込みされる方はハガキの空いたスペースに①お名前②プロック③住所④電話番号をお書き添えの上、お送りいただけますようお願いいたします。

■第13回「趣味の作品展」

2017年2月20日～26日

■出品申し込み締め切り

2016年11月20日

■お問い合わせ ヤマハOB会事務局

053・460・1604

編集まがより

最近、特に意識している事が二つ程あります。

その一、今年度からこの会報の編集委員を拝命し、無駄のない分り易い文章表現を、今まで以上に気を付けるようになりました。

その二、「あの人は、いまどうしている」の記事を感慨深く読ませて頂いていますが、私自身に置き換えてみる時、より楽しく無理のないシニア時代を生き抜く為、次のような事柄に留意しております。

屋外での長時間活動は二日続けて行わない。パソコンは30分毎に休憩。好きな食べ物も腹八分。言いたい事も30秒待ってから。歩く時は前と足元を良く見るなどです。

加齢現象による不測の事態を防ぐには、ハドルを自分に合わせる割り切りが肝心。これからもこの会報を通じて、皆様と共に楽しさを分かち合えればと願っています。

(昇)